

## 県外派遣報告書

審判員名	堀口 拳	所属	埼玉県U18
大会名	令和6年度関東高等学校男子バスケットボール大会兼第78回関東高等学校男子バスケットボール大会		
期間	令和6年6月1日(土)・2日(日)		
会場	深谷市総合体育館・カミケンシルクドーム		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
5月31日(金)	審判会議、研修会	ZOOM会議 自宅他	
6月1日(土)	A,Bブロック1・2回戦	深谷市総合体育館・カミケンシルクドーム	
6月2日(日)	A,B ブロック 準決勝・決勝	深谷市総合体育館・カミケンシルクドーム	
会議 講義 内容			
<p>(1) 挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一般社団法人埼玉県バスケットボール協会 専務理事 名児耶 美久 様</li> <li>○一般社団法人埼玉県バスケットボール協会 審判部長 眞榮喜 工 様</li> <li>○関東バスケットボール協会 審判委員長 平原 勇次 様</li> </ul> <p>(2) 指名審判員紹介・レクチャー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一般社団法人東京都バスケットボール協会 和嶋 陽一 S 級審判員 様</li> <li>▶TOの視点から分かりやすいレポートを心掛ける <ul style="list-style-type: none"> <li>・スコアラーやスタッツの視点から、2or3を早めに示す</li> <li>・バスケットカウントの後はスコアラーがバタつくため少し間をもってレポートする</li> <li>・クォーターからインターバルへの切り替えは確認作業終了後になるので慌てさせない</li> <li>・審判が勝手にアローを変えない(もう一度替えてしまうなどのトラブルを避ける)</li> </ul> </li> <li>○一般財団法人神奈川県バスケットボール協会 加納 康平 S 級審判員 様</li> <li>▶クルーワークの大切さ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライセンスや立場(CC、U1、U2)、年齢や性別など、違いはたくさんあるが、判定するうえでは関係ない。</li> <li>・みんなが平等になれるような雰囲気づくりやPGCを</li> <li>・プライマリーを尊重する(吹かれた側がどう見られるかも考慮)</li> </ul> </li> <li>○一般社団法人茨城県バスケットボール協会 大野 太裕 S 級審判員 様</li> <li>▶クルーワークの重要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の我が出すぎてしまうとクルーワークを壊すことになる。(CCMとは違う。クルーのバランスを考える。)</li> <li>・なぜならさない?なぜならしちゃう?と考えるのではなく、今後どうするかを考える。</li> </ul> </li> <li>▶A、B級のときとの意識 <ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーチーフと何が違うのか試合のたび考えた</li> <li>・良いときと悪いときの差がなくなった(メンタルコントロール)</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) 審判割当確認</p> <p>(4) 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試合運営についての確認事項(チーム伝達事項)</li> <li>・各係からの連絡(会場・輸送・宿泊・総務・その他)</li> </ul>			

実技

担当試合	期 日	6月1日(土)	男子 女子	Bブロック1回戦
	対戦カード	自然学園(山梨) VS 長狭(千葉)	CC	U1 U2
	相手審判	CC:沖田裕毅氏(神奈川) U1:堀口拳 U2:長沢弘基(群馬)		

ミーティング内容 主任 一色渉氏(茨城)

- ▶ PGC
  - ・ベーシックなメカニクスの確認
  - ・シチュエーションに応じたプライマリーの確認
  - ・HDRについて確認
  - ・チーム情報の共有
- ▶ ゲーム後のミーティング(一色氏より)
  - ・クルーワークよく取り組んでいた(タイムアウト中やインターバル中のコミュニケーションが活発)
  - ・自然学園の留学生に対しての守り方に笛を入れるかは、留学生のリアクションにも注目する  
→嫌がる様子や表情が見えなければ無理につける必要はない、やれるならやらせる。
  - ・メンバー登録のない選手が出場してしまった件について  
→登録はある選手だが番号間違いがあったため、スコアシートの番号のみ修正し出場を許可(罰則無し)の対応をした。競技規則上問題なし。だからこそ自信をもって対応してほしい。
  - ・リードが2or3をピークするのはエッジ下のみにとどまらない。サドンショットにもっとヘルプしてほしい。

全体の感想

男子関東大会という大きな舞台で審判の機会をいただけたこと、非常に嬉しく思います。Bブロック1回戦を担当させていただきましたが、この大会に向け日々練習を重ねてきたチームの思いを感じつつ、その試合の一端を担えたことは私にとって貴重な経験となりました。審判として現状の力は出しつつも、判定力や考え方、ゲームコントロールに大きな課題を感じました。ひとつひとつ課題をクリアして、レベルアップしていけるよう研鑽していきます。また、担当した試合以外にも、多くの審判員の皆様と会話を交えながら、様々な考え方や試合の見方に触れることができました。その中で学んだことを決してそのままにはせず、今後の審判活動に活かしていきます。

最後になりましたが、埼玉県バスケットボール協会審判部長 眞榮喜様をはじめ、審判部の皆様、関東ブロック審判長 平原様、ご講義いただきました指名審判員 和嶋様、加納様、大野様、一緒に試合を担当していただいたクルーの皆様、大会期間中お世話になりました審判員の皆様、TO、大会に関わるすべての役員の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。